

今年度もよろしくお願ひいたします ～ 平成26年度の主な行事予定

今年度も、様々な行事を通して、子ども同士の交流を深め、地域の方々に松山聾学校のことを知っていただくと考えています。主なものは次のとおりです。

運動会

平成26年 5月24日(土)【終了しました】

幼児体験学習・幼稚部説明会

第1回 平成26年 6月10日(火)【終了しました】

第2回 平成26年 9月25日(木)

※ 聴覚障害のある幼児対象です。教育相談もできます。

学校公開

第1回 平成26年 7月12日(土)

第2回 平成27年 1月31日(土)

※ 聴覚障害教育に関心のある方は、どなたでも参加できます。

サマースクール

平成26年 7月31日(木)

※ 聴覚障害のある幼児から高校生対象です。

高等部体験入学

平成26年 9月19日(金)

※ 聴覚障害のある中学生対象です。授業体験等があります。

文化祭

平成26年10月19日(日)

ウインタースクール

平成26年12月下旬(期日未定)

【速報!】 中学部・高等部サマースクールについて

毎年の恒例行事となっている本校のサマースクールで、中学部・高等部の活動として学習会を計画しています。今年度も、昨年に引き続き学校法人河原学園様の御協力により、本校で出張授業をしていただけることになりました。今年度の出張授業は次の2校です。

河原パティシエ・医療・観光専門学校

(授業内容: マジパン パイピング体験)

河原アイペットワールド専門学校

(授業内容: 聴導犬について)

聴覚障害のある中学生以上が対象です。本校の生徒と交流しながら学習し、将来の進路決定の参考にしてください。詳細は、本校担当佐伯まで。

試してみませんか？ あなたのコミュニケーション能力！

全国手話検定試験 の御案内

主催 社会福祉法人 全国手話研修センター

URL <http://www.com-sagano.com/kentei/HP/kentei-menu.html>



今年で第9回目を迎える試験です。

5級から1級まであります。試験内容は、手話での読み取り、手話での表現、手話での会話の3つがあり、2級以上は手話や聴覚障害に関する筆記試験もあります。

この試験に関しては、DVDや学習テキストが販売されているだけでなく、手話研修センター主催の手話合宿や学習会もあります。また、ホームページでは、各級の単語リスト等もダウンロードでき、学習を進めるためのアイテムが揃っているのでチャレンジしやすいと思います。今年は是非いかがでしょうか。

【御報告】 地域支援も積極的に行っています！

難聴幼児・児童・生徒の担任者会

先日、6月15日(日)に、本校を会場として難聴幼児・児童・生徒の担任者会が行われました。この会は、愛媛大学教育学部名誉教授である高橋信雄先生と愛媛県難聴児を持つ親の会が長年にわたって行ってきた会で、2年前に本校が主幹となって引き継ぎ、続けています。今年度は、愛媛大学教育学部教授の立入哉先生の御協力を得て、次のような内容で研修や協議が行われました。

- 講義と実習「難聴児の聞こえの理解と学習支援」
愛媛大学 教育学部 教授 立入 哉 先生
- 実践報告「松山市難聴特別支援学級交流会
～難聴児集う会晴ればれの2年間の取組について～」
松山市立味酒小学校 教諭 楠岡 正輝 先生
- 調査報告「県内難聴特別支援学級の現状と課題」
愛媛県立松山聾学校 教諭 河村 義和
- 部別懇談会 幼・小部会、中・高部会

参加者は、難聴特別支援学級等の関係者、本校関係者等計47名(手話・要約筆記者7名を除く)で、難聴児を持つ親の会からも参加をいただきました。会の最後には、7月に来県するハンドサインのイベントについて、人工内耳装用児の会「うさぎのわ」の代表である土居様からお話をいただきました。

休日にもかかわらず御参加くださいました皆様、本当にありがとうございました。

みぎゃんも手話をする?

みなさん御存じの、愛媛県のイメージアップキャラクターである「みぎゃん」は、今、県下の様々なイベントで活躍しています。2017年に開催されるえひめ国体 (<http://www.ehimekokutai2017.jp/>) のマスコットにもなっていますね。そのみぎゃんが手話をしているバージョンが、下のイラストです。

えひめ国体の後にある全国障害者スポーツ大会では、情報支援ボランティアとして、手話通訳者が300人、要約筆記者(手書き)が200人、要約筆記者(パソコン)が100人必要であるとしているようです(第17回全国障害者スポーツ大会愛媛県準備委員会(H25, 4)ボランティア養成基本方針より)。



現在、数が足りないので研修等で人員を確保する必要があり、愛媛県聴覚障害者協会や愛媛県手話通訳問題研究会等で、養成のための準備が進められているようです。この国体を契機に手話通訳者が増えると、手話で生活をしている人たちが生活しやすい環境ができる、ということで関係者の皆さんは、国体後も見据えて頑張っておられます。

みぎゃんは今いろいろなパターンの表情や動きをしてあちこちで活躍していますが、手話バージョンはにっこりと微笑んで手を動かしている(これって、「ありがとう」の手話でしょうか…) のがいいですね。



【 ありがとうございます 】

以前本校の皆さんがお世話になり、現在みなら特別支援学校でお仕事をされている角藤先生から、DVDを寄贈していただきました。寄贈していただいたDVDは次のとおりです。

- 「手話で語る3.11」
- 「音のない3.11」
- 「昭和を切り拓いたろう女性からあなたへ」
- 「サラリーマンライフ」
- 「五目ごはん 私たちの生きる道」

いずれもろう者の映画監督である今村彩子さんの作品です。中学部、高等部での自立活動の授業を中心に使わせていただきます。

角藤先生、ありがとうございます。



編集後記

例年より発行が遅れてしまいましたが、みみちゃん第58号をお届けいたします。今年度も、地域支援の1つとして、様々な形で情報提供を行っていきたいと考えています。本校の行事にも是非御参加ください。